

## ◇平成 30 年度産業動物部会セミナーの開催

11月19日(月)に、平成30年度産業動物部会セミナーが開催された。セミナーは2部構成で行われ、前段はエムズデーリィ・ラボ 代表の三好志朗先生が「乳房炎コントロールのためのネクストステップ」、後段はミウラ・デーリィ・クリニック 代表の三浦道三郎先生が、「移行期の代謝障害 肝機能を中心に考える」と題しそれぞれ講演を行った。

三好先生の講演では乳房炎コントロールのためのバルク乳モニタリングの重要性や、過去の乳房炎に関する記録の重要性などが指摘された。また、乳房炎治療に関しては原因菌を特定し、原因菌にあった治療法を選択することが重要だとのことであった。三浦先生の講演では分娩前後の肝機能について、様々なデータを元に科学的な説明がなされた。乳牛の疾病の70%は移行期と呼ばれる分娩前後に集中する。この時期をスムーズに乗り切り、乳生産にむかうための栄養管理法などについて説明された。

獣医師24名の参加に加え酪農家7名を含めた獣医師以外の方も17名の参加があった。周産期疾病と乳房炎のコントロールは酪農業界で最も関心の高い問題であり、産業動物獣医師にとって顧客である酪農家とともに情報を共有することができた良い機会となった。ここ数年の産業動物部会のセミナーは、部会員である獣医師だけではなく、生産者である畜産農家を含めた畜産業全体に貢献する情報の提供を目的として開催されている。



講演される三好志朗先生



講演される三浦道三郎先生